



World
Wetlands Day
2 February 2018

Wetlands for a sustainable urban future



理想を現実に: 都市の湿地は街を住みやすい場所にする

世界の都市人口は、毎年2.4%ずつ増加しています。人口一千万人以上の巨大都市の数は、2030年までに31から41都市に跳ね上がるでしょう。このような急成長は、都市計画の中に湿地を含めるいい機会です。

再生された中国黄山市 新安江(Xin'an River)の水辺

中国黄山市は、市内中心部にそびえる名峰、黄山にちなんで付けられました。この人口140万の大都市の真ん中を、新安江が流れています。川の南端7.5kmの区間は湿地に再生され、自然の洪水調節機能を持つとともに、湿地公園、植物園、住宅団地区域を含む新たな緑地帯となりました。

ウガンダ、カンパラのナキヴボ湿地

発展著しいカンパラはウガンダの首都です。ナキヴボ湿地は、カンパラの工業地域からおよそ10万世帯が暮らす住宅地域にかけて広がる、面積550ヘクタールの湿地です。2003年の推計で、この湿地の持つ自然の水処理機能の価値は、年間200万USドルに相当するとされました。湿地は、自然水系あるいは人工水系に流れ込む水を、自然にろ過し汚染物質を減らしています。



© Tobias Salathe, Ramsar Convention

ルーマニア、ブカレストのバカレシュティ自然公園

ルーマニア最大で最も人口密度の高い都市の中心からわずか4kmの場所にある、バカレシュティ自然公園(2014年保護区に指定)は、183ヘクタールの都市湿地です。この湿地は、1989年以来放置されてきた人工の貯水池を完全に埋め戻して自然公園にしました。現在、3か所の池の周囲に数百種類の花や植物が見られる豊かな生態系となっています。カワウソやカメを含むさまざまな種類の鳥や動物が生息するこの湿地公園は、建物が密集する街の中で、いわば緑の肺のような、都市の緑地を提供しています。

ラオス人民民主共和国ビエンチャンのタット・ルアン湿地

ビエンチャンのはずれにある2,000ヘクタールのこの湿地は、昔から洪水を防ぐ緩衝帯の役割を果たし、地域の漁民の生計を支えるとともに、米や野菜の生産も支えてきました。WWFとWWTの最近のプロジェクトにより、この場所に小学校、製紙工場、醸造所のための汚水処理用湿地が6か所建設され、それらが、低コスト・低エネルギーの都市汚水処理方法になりうることを実証されました。この汚水処理システムは、特定の都市開発地域も視野に入れた、この湿地のより大きな管理計画の一部になっています。



© Ramsar Convention



#KeepUrbanWetlands
#WorldWetlandsDay
www.worldwetlandsday.org

UN HABITAT
FOR A BETTER URBAN FUTURE

I.C.L.E.I
Local
Governments
for Sustainability



World Wetlands Day
is made possible by the
Danone Fund for Water.

